

No. 7-8

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 07 - 8

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		26年 6月 11日		
事務事業名		地域間交流事務						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	6 語らいのあるまち						課名	町民課		係名	町民活動係
		6-2 人と人が交流するまちをつくる						シート作成者				
	施策	6-2-2 交流活動の推進						予算費目	会計	一般		
									款	2		
主要施策	② 地域間交流の促進						項		1			
							目		6			
個別計画名												
住民との関わり		特になし										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	住民、地域				交流することにより相互に協力、刺激し合い地域の活力を高める。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				大台町との友好親善提携に基づき、各種行事への積極的な参加や大台町交流ツアーを実施して、地域間交流を推進する。							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 9年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等												
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		394			600			733				
財源内訳	国庫支出金	0			0			0				
	県支出金	0			0			0				
	地方債	0			0			0				
	その他特定財源	0			0			0				
	一般財源	130			138			73				
直接事業費（千円）A		130			138			73				
人件費（千円）B		264			462			660				
内訳	一般職員（人・千円）	0.04 人	264	0.07 人	462	0.10 人	660					
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0					
成果指標	成果指標名			単位	25年度		26年度	27年度				
					目標	実績	（目標）	（目標）				
	①	交流事業参加者数		人	40	29	40	40				
	②											
③												
説明	地域間交流の意義を理解し、積極的に参加していただける方が多ければ多いほど事業目的の達成度は高くなると考えられるため、その人数を指標として設定する。											

事業名	地域間交流事務	シート作成課	町民課
-----	---------	--------	-----

一次評価者	町民課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明			
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		行政界を越えた多様な交流を一層充実させ、地域連携の活性化とさまざまな分野で協力できる人のつながり作りを進める必要があります。		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			互いの地域の個性と魅力に触れ、相互に協力、刺激し合うことにより地域の活力を高められます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				大台町交流ツアーを2回開催し、50名の募集で、29名の方に参加いただきました。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

本事務事業の実施適切性の説明

大台町との地域間交流事業を一層充実させ、地域連携の活性化を図ります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	大台町との交流については、現在実施している交流ツアーの他に、住民間の交流がより推進されるよう事業内容をもう一步深めていく。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	趣向を変えた大台町の地元の祭りでの交流状況の検証が必要である。						

二次評価に対する課の考え方	大台町との地域間交流を推進しつつ、新しい交流を実施します。		
---------------	-------------------------------	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する
------------	------	----	------	--------------